

六本木アートナイトは六本木の街を舞台にした一夜限りのアートの饗宴です。様々な商業施設や文化施設が集積する六本木の街に、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなどを含む多様な作品を点在させて非日常的な体験を作り出し、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルを提案します。また、アートと街が一体化することにより六本木の文化的なイメージを向上させ、東京という大都市における街作りの先駆的なモデルを創出します。

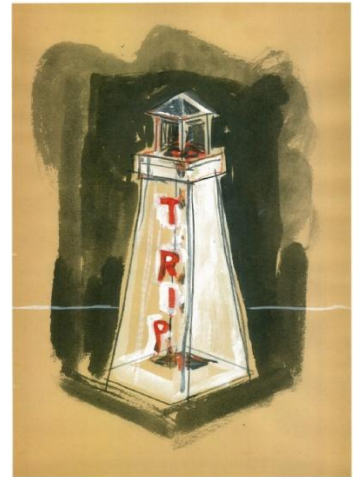
今回は初めてアーティストディレクター制度を導入、同職にアーティストの日比野克彦氏を迎えました。開催のテーマを『TRIP→今日が明日になるのを目撃せよ。』として、「時間と空間の小旅行」「夜から朝を迎える高揚感」「時空を超えてかの地へ馳せる想い」を、日比野氏とアーティストたちが形に、アクションにして、六本木をトリップする様々なプログラムを構築します。六本木の各地を“港/port/terminal”と捉えた、一晩限りの非日常的なトリップへの船出を目撃・体感できます。

六本木ヒルズアリーナには、六本木アートナイトの目玉となる、日比野氏の東北への想いを形にした“灯台”のモニュメント「TRIP→プロジェクト」が姿を表します。

また、今回のメインプロジェクトのひとつ「アートブネプロジェクト」は、日比野氏と気鋭の作家10数組がコラボレーションして装飾や展示を行い、パフォーマンスの舞台装置としても活躍するフネが六本木の各所に登場します。そのほか、アーティストとプロフェッショナルがガチンコで対談する「六本木夜楽会」や、若手アーティストたちの映像、インスタレーション、立体作品が六本木の街中へ飛び出す「アートポート六本木」、六本木の公園が舞台となりパフォーマンスが展開される「公園で公演」（仮称）など、六本木の夜を彩る様々なプログラムを展開します。

平成23（2011）年度には約70万人（全プログラムの延べ鑑賞者数）が来場したアートの饗宴。六本木の街中がオールナイトでアートで彩られる祭典にご期待ください。

※詳細はウェブサイトにて最新情報を随時アップしますのでご参照ください。



「灯台」のイメージドローイング



「アートブネ」のイメージドローイング

■名称 六本木アートナイト 2013

■開催日時 平成25(2013)年3月23日(土)10時～24日(日)18時  
◎コアタイム:日没(17:55)～日の出(5:39)  
※コアタイムはメインとなるインスタレーションやイベントが集積する時間帯です。

■開催場所 六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21\_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

■料金 無料(但し、一部のプログラムおよび美術館企画展は有料)

■一般問い合わせ先  
TEL :03-5777-8600(ハローダイヤル) 営業時間: 年中無休 8:00～22:00

■公式ウェブサイト  
<http://www.roppongiartnight.com>

[主催]東京都／アーツカウンシル東京・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)／六本木アートナイト実行委員会[国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21\_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合](五十音順)

## ■「東京文化発信プロジェクト」各種事業を経験したアーティストが「六本木アートナイト 2013」に参加！

——事業間の積極的フィードバックで一層充実し、「世界的な文化創造都市・東京」へ

### 日比野克彦氏や大友良英氏など多様なアーティストが、他の事業の経験を踏まえて参加

東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」をめざして、東京都と東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）が年間を通じて進める多様な事業で構成されています。

その一環である「六本木アートナイト 2013」では、東京文化発信プロジェクトの各種事業に係わっているアーティストが多数参加します。

アーティストディレクターの日比野克彦氏は、平成 23 年の「東京クリエイティブ・ウィーク」でスーパーバイザーを務めていただきました。そのテーマは、東日本大震災からの復興に向けて、これからの日本、東京をスケッチブックに描くように創造しようというメッセージを含めた「TOKYO FUTURE SKETCH ～日本の未来のために、文化ができること～」でした。そして今回の「六本木アートナイト 2013」で、アートナイト全体のみちしるべとして六本木ヒルズに登場するのは、日比野氏の東北への思いを含めた“灯台”のモニュメント「TRIP→プロジェクト」です。

また、「アートブネプロジェクト」に参加予定の大友良英氏は、「大友良英 千住フライングオーケストラ」として参加しますが、このユニットは、「東京アートポイント計画」の「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」で、「音の出る凧」を開発し、荒川河川敷等で地上と空中からの音の競演を実施。今回六本木でどんなパフォーマンスを見せてくれるか楽しみです。

さらに、一緒に参加する予定の未来美術家・遠藤一郎氏は、昨年、千住フライングオーケストラと一緒に凧を揚げたほか、「東京アートポイント計画」の「TERATOTERA」で、「バスのなかのひみつ～子どもだけに訪れる不思議な出会い～」というプログラムを実施し、遠藤氏のバス「未来へ号」の中で子供たちに絵を描いてもらいました。

「六本木夜楽会」に出演予定の藤浩志氏は、平成 24 年の「東京クリエイティブ・ウィークス」の国際会議「文化の力・東京会議」にパネリストとして参加。また、浅井裕介氏は「公園プロジェクト」の「植物になった白線@代々木公園」などを手掛けました。経験を踏まえながら、今回も熱のこもったトークが繰り広げられることでしょう。



千住フライングオーケストラ（平成 24 年）



「バスのなかのひみつ」実施風景  
（平成 24 年）



「植物になった白線@代々木公園」実施風景

#### 東京文化発信プロジェクトとは

東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体やアート NPO 等と協力して実施しているプロジェクトです。都内各地での文化創造拠点の形成や子供・青少年への創造体験の機会の提供により、多くの人々が新たな文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、国際フェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。

<http://www.bh-project.jp>